

H30年度地方創生推進交付金事業の効果検証

1. 交付金事業名	香港における南部広域観光・物流促進事業 (鹿児島県南部広域観光物流実行委員会)			
2. 総事業費 (円)	3,869,494円 (指宿市分) ※他自治体(南九州市, 南さつま市, 枕崎市, 南大隅町)も同額			
うち交付金額(1/2以内)	1,934,745円 (指宿市分) ※他自治体(南九州市, 南さつま市, 枕崎市, 南大隅町)も同額			
3. 事業概要 (交付金を充当した事業)	<p>①タクシー活用事業 タクシー事業者への補助・支援等</p> <p>②レンタカー利用促進事業 レンタカー利用促進のための仕組みの構築等</p> <p>③国のプロモーション戦略との連携事業 国が年度毎に策定する「訪日プロモーション方針」における共同プロモーションの実施</p> <p>④SNSを活用したPR事業 ブログ、フェイスブック等を活用した情報発信</p> <p>⑤広域パンフレット作成事業 構成市町の観光資源等をまとめたパンフレットの作成</p> <p>⑥旅行代理店とのプロモーション事業 旅行代理店と連携した当エリアへの旅行商品造成やプロモーション等</p> <p>⑦海外商談会への出展事業 出展事業者に対する補助等</p> <p>⑧輸出スキルアップ事業 JETRO連携セミナー&国内バイヤー招請小規模商談、県等と連携した共同商談会</p> <p>⑨海外輸出プロモーション事業 県等が海外で実施する輸出促進事業と連携し、本地域製品の輸出を更に図るためのプロモーション</p>			
4. H30事業終了時における目標値(KPI)に対する実績値	目標指標		目標値	実績値
	①	本エリアに宿泊する香港からの観光客数 H30増加分	1,779人増加	▲5,648人
	②	本事業による商談件数 H30増加分	20件増加	▲66件
	③	本事業による成約件数 H30増加分	5件増加	▲8件

5. 数値以外の事業効果や実績	<p>(観光部門) H28年度に本実行委員会で策定した「香港を中心としたアジア圏域からの誘客戦略」によると、香港からの旅行者は、行き先の情報収集を旅行週刊誌や月刊誌などの紙媒体や、インターネット、SNS・ブログなどを活用する傾向がある。 平成30年市観光統計によると23,926人が訪れていることから、個人のSNS等を通して相当数の情報が拡散されていると推察されるため、このような情報発信が更なる誘客のきっかけになり得ているのではないかと考えられる。</p>	
	<p>(商工部門) 輸出に向けた体制が整った事業者等を対象に、JETROや県内大手貿易商社と連携し、台湾で開催された商談会への出展支援を行った。 また、地域内における輸出機運醸成に向けた取組の一環として、輸出経験の少ない事業者や輸出に興味のある事業者を対象に、貿易リスクを抑えて輸出できる商機を創出するため、JETROや国内貿易商社等を招集した小規模商談会、産地視察を開催し、商談会前には、参加事業者を対象とした「輸出スキルアップセミナー」も開催した。 さらに、県や県貿易協会と連携し、ASEAN地域における物流・情報発信の拠点であるシンガポールの日系スーパー及び日本食レストランにおいて開催した「鹿児島フェア」に参画し、本地域製品のPR及び輸出促進を図った。</p>	
6. 地方創生への事業効果 (選択肢は国の報告書に同じ)	① 地方創生に非常に効果的であった	該当番号
	例: 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合	
	② 地方創生に相当程度効果があった	③
	例: 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合	
③ 地方創生に効果があった		
例: KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合		
④ 地方創生に対して効果がなかった	例: KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとはいえないような場合	
7. 今後の事業方針 (選択肢は国の報告書に同じ)	① 事業の継続	該当番号
	計画通りに事業を継続する	
	② 事業の発展	①
	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる	
	③ 事業の改善	
事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行う(または、行った)		
④ 事業の中止	継続的な事業実施を予定していたが中止する(または、した)	
⑤ 事業の終了	例: KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとはいえないような場合当初予定通り事業を終了する(または、した)	

<p>8. 上記「今後の事業方針」を選択した具体的な理由と、今後の事業方針の具体的な内容</p>	<p>(観光部門) KPI①が減少に転じた理由として、平成29年度は本事業の効果に加え、香港鹿児島間の直行便の増便や格安航空(LCC)の就航などの相乗効果もあり、急激な増加がみられた。このような背景から、平成30年度は潜在的に存在した当エリアへの旅行希望者が前年中に多数来訪したことや、7月の西日本豪雨による影響が生じたものと推察される。KPIの累計としては、目標を大きく上回っているため、事業開始前よりも取組が前進したものと考えており、今後も戦略に基づく事業計画を継続としたい。(①事業の継続)</p> <p>[KPI①参考] 事業開始前 8,892人 → 3カ年で7,113人増(目標累計:15,034人) 平成29年度 KPI:3,556人増 → 実績:20,682人増(宿泊者累計:29,574人) 平成30年度 KPI:1,779人増 → 実績:▲5,648人(宿泊者累計:23,926人)</p> <p>(商工部門) 指宿市を含む5市町で構成する鹿児島県南部広域観光物流実行委員会が主体となり、「平成31年度地方創生推進交付金(香港における南部広域観光・物流促進事業)」において、事業継続を図る。 「海外商談会等の販路開拓事業」のこれまでの実施により、輸出に向けた商社や海外の販売店等との販路や商流確保を行えた。この中で、大きな課題となっているのは、販売店等との継続した取引である。そこで、これまで開拓した販路先での商取引を強化し輸出促進を図るため、次のステップとして、海外商談会の出展に代わり、海外での販売、知名度向上を目的としたプロモーション事業に進展させるとともに、国内商談会の強化や商機を創出し、商取引の強化を図る。 また、JETROと連携をさらに強化し、バイヤー招聘からフォローアップ指導までを一体的にサポートを行う伴走型の事業に発展させ実施する。</p> <p>[KPI②参考] 事業開始前 0件 → 3カ年で55件増(H29年度:20件, H30年度:H29年度+20件増加, H31年度:H30年度+15件増加) 平成29年度 KPI:20件 → 実績:289件 平成30年度 KPI:H29年度+20件増 → 実績:▲66件(商談件数:223件)</p> <p>[KPI③参考] 事業開始前 0件 → 3カ年で13件増(H29年度:3件, H30年度:H29年度+5件増加, H31年度:H30年度+5件増加) 平成29年度 KPI:3件 → 実績:41件 平成30年度 KPI:H29年度+5件増 → 実績:▲8件(成約件数:33件)</p>
<p>9. 事業評価等を踏まえた指宿市版まち・ひと・しごと創生総合戦略の見直しの有無</p>	<p>戦略の見直しは無し。 上記、8の内容を踏まえながら、事業を推進していく。</p>
<p>10. 事業評価等を踏まえた指宿市版まち・ひと・しごと創生総合戦略の見直し(案)</p>	<p>—</p>

H30年度地方創生推進交付金事業の効果検証

1. 交付金事業名	食の宝庫かごしま 食と農の競争力強化事業
2. 総事業費 (円)	18,658,665円 (指宿市分) ※他自治体 (鹿児島県, 日置市, 霧島市, いちき串木野市)
うち交付金額 (1/2以内)	9,329,331円 (指宿市分)
3. 事業概要 (交付金を充当した事業)	<p>1. 【機能性健康実証結果が得られた主要産品 (オクラ、鰹本枯節) などを活用した、付加価値向上のための商品開発への支援】</p> <p>① 指宿市が機能性の効果検証を行い優良な効果が得られた食品 (オクラパウダー、鰹本枯節) を活用した商品開発への支援</p> <p>② 指宿市産農畜水産品を活用し化学調味料無添加等の付加価値の高い商品開発への支援</p> <p>2. 【現役バイヤーや地域商品卸商社との連携による、地域の農畜水産品を活用した商品開発から販路開拓までの一貫したスキル取得支援と実践機会 (商談会等) の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品開発セミナーや販売セミナー、個別相談会及び小規模商談システムを活用した初期販路支援の実施 ・地域商品卸商社と連携し大規模商談会での出展効果の向上を図る ・都市部で開催される商談会への出展 <p>3. 【首都圏における市及び県内事業者の販路拡大に向けた農畜水産物・食品の商談会 (薫るいぶすき商談会) の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開拓の足がかりとなる商談会の開催 (薫るいぶすき商談会: 東京開催) <p>4. 【都市部における事業者の自主的な販路開拓、販売展開を促進するための商談会・物産展などへの出展支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市部の商談会、物産展等への出展支援 <p>5. 【都市部の質販店との継続的な商流を構築しながら地域産品の販売強化を図るための、指宿フェア開催やバイヤー等招聘による商品ブラッシュアップ支援・産地体験などの取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のこだわり商品を販売している質販店での指宿フェア (商品ブラッシュアップ、産地体験等) <p>6. 【官民連携による、市の主要地域産品 (指宿鰹節 (鰹本枯本節)、オクラ、豆類) のブランド化及び知名度向上に向けた、首都圏レストランフェア等の開催や、有名料理人等を招聘した製造体験、オクラの健康効果などを生かした高品質ブランド化広告などの取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指宿鰹節 (鰹節の最高級鰹本枯本節) のブランド化に向けた首都圏でのレストランフェア等、有名料理人等招聘製造体験、大手コンビニとの連携事業の実施 ・オクラのブランド化に向けた首都圏での県等と連携したPRイベント及びレストランフェアの実施 ・取り組みに係る需用費、役務費 ・市産オクラの高品質性を印象づける機能性を活用した広告の実施

	目標指標		目標値	実績値
	4. H30事業終了時における目標値(KPI)に対する実績値	①	本事業による農林水産物, 加工食品等の商談成立件数	20
	②	本事業による販売促進活動件数	10	45
	③			
5. 数値以外の事業効果や実績	<p>(商工部門)</p> <p>市, 指宿商工会議所, 菜の花商工会が組織する「もうかる指宿クラスター協議会」と郷土会が連携した東京都内での食品・飲料展示商談会(薫るいぶすき商談会)の開催や国内での販売を促進するため, 大規模商談会への出展事業等や, 国内外で実施される商談会などへの出展及び新商品の開発を促す補助事業を実施した。</p> <p>また, 商品開発や販売促進につながるセミナー等を実施し, 事業者の育成や, 異業種交流を促進するとともに, 指宿鰹節やオクラの知名度向上に向けた取り組みを実施した。</p> <p>(農政部門)</p> <p>もうかる指宿クラスター事業(農政分)では, 首都圏の青果バイヤーを招いた販路拡大セミナーに加え座談会を行うことで, 参加者やバイヤーが意見を出し合い相互に刺激を受ける新たな展開となった。併せて, バイヤーやシェフを招いた産地視察(市内生産者のほ場訪問)を行うことで, 産地「指宿」のPR, 販売促進, その後のオクラレストランフェア(7/20商工水産課主催)や豆類レストランフェア(2/19農政課主催)開催に, 有機的につながる展開となった。</p> <p>また, セミナー講師として招いた(株)アグリゲートと連絡調整を重ねる中で, 市内農産物の販路拡大や人材教育に向けた同社との包括連携協定の締結(1/29協定締結)に至った。連携のキックオフ企画として, 同社の都内全16店舗で「3種のお豆のいぶすき弁当」を販売(2/20から7日間販売)し, 店内ブースでも指宿産豆類のPRを行った。(一般財源で実施。)今後も, 指宿産品の販路拡大や新たな価値創出に期待が持てる展開となった。</p>			
6. 地方創生への事業効果 (選択肢は国の報告書に同じ)	① 地方創生に非常に効果的であった			該当番号
	例: 全てのKPIが目標値を達成するなど, 大いに成果が得られたとみなせる場合			
	② 地方創生に相当程度効果があった			①
	例: 一部のKPIが目標値に達しなかったものの, 概ね成果が得られたとみなせる場合			
③ 地方創生に効果があった				
例: KPI達成状況は芳しくなかったものの, 事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合				
④ 地方創生に対して効果がなかった				
例: KPIの実績値が開始前よりも悪化した, もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合				
7. 今後の事業方針 (選択肢は国の報告書に同じ)	① 事業の継続			該当番号
	計画通りに事業を継続する			
	② 事業の発展			①
	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる			
	③ 事業の改善			
事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行う(または, 行った)				
④ 事業の中止				
継続的な事業実施を予定していたが中止する(または, した)				
⑤ 事業の終了				
例: KPIの実績値が開始前よりも悪化した, もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合当初予定通り事業を終了する(または, した)				

<p>8. 上記「今後の事業方針」を選択した具体的な理由と、今後の事業方針の具体的な内容</p>	<p>(商工部門) 県及び指宿市を含む県内の自治体が広域連携で実施する「平成31(令和元)年度地方創生推進交付金(食の宝庫かごしま 食と農の競争力強化事業)」において、事業継続を図る。</p> <p>(農政部門) 効果が十分に出てきていることから、今後も継続して事業実施していく計画である。</p>
<p>9. 事業評価等を踏まえた指宿市版まち・ひと・しごと創生総合戦略の見直しの有無</p>	<p>戦略の見直しは無し。 上記、8の内容を踏まえながら、事業を推進していく。</p>
<p>10. 事業評価等を踏まえた指宿市版まち・ひと・しごと創生総合戦略の見直し(案)</p>	<p>—</p>